

# はじめに

全国国公立幼稚園・こども園長会  
会長 新山 裕之

平成 30 年 4 月から幼稚園教育要領等が全面実施となり、一年が過ぎました。本会では、今回の改訂の趣旨や内容について、様々な形で発信し、皆さんと共に研修・研究を深めてきました。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿は共通でも、それを育むための活動や方法は地域によって特色があるでしょう。全国各地に伺い、園をお尋ねして保育を見せていただいたり、先生方とお話ししたりする機会があります。その中で歴史的・地理的要因や気候風土などによって、活動内容はもちろん、その地域ならではの特色や課題が様々なことを実感します。

私たちは、各園や地域の特色を生かし、課題に前向きに向き合い、実践と研究に努めなければなりません。一方で、どの園や地域であっても、幼児期にふさわしい遊びや生活を通して……という幼稚園教育要領等の趣旨に則った実践を進めることは変わりません。このような姿勢で長年積み重ねてきた国公幼の実践や研究が、地域の幼児教育の質の維持・向上を支えてきたものと思います。

国公幼の幼稚園・こども園は規模の小さい園が多く、意識して外に学びの場を求めることが必要であると思います。質の高い幼児教育の実践のために、常に視野を広くし、先の見通しをもった園経営が今まで以上に求められています。

今年も国公幼という全国組織である利点を生かし、全国 7 ブロックの園長先生から、貴重な実践報告をお寄せいただきました。今求められている園経営に関する課題に対して真摯に取り組んだものばかりです。研究集録として今年も皆様にお届けできることを感謝するとともに、会員である全ての園長先生が園経営の改善にご活用いただくことを期待しています。

最後に、公務ご多用の中、実践報告をご提供いただいた園長先生方に深く感謝申し上げます。